

# Press Release

## 当プレスリリースについて

この資料は、ドイツのベーリンガーインゲルハイム (Boehringer Ingelheim GmbH) が 9 月 5 日に発表したプレスリリースをもとに日本語に翻訳したものです。なお、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。この資料の内容および解釈については英語のオリジナルが優先することをご了承ください。

## 動物のアフリカ・トリパノソーマ症撲滅に向け、 新たなパートナーシップを締結

- 「ナガナ」とも呼ばれる動物のアフリカ・トリパノソーマ症 (AAT) は、毎年、牛数百万頭の死亡原因となっており、サハラ以南アフリカ地域の畜産農家にとって大きな社会的経済負担の要因

- ビル&メリンダ・ゲイツ財団、英国政府外務・英連邦・開発省 (外務省)、ベーリンガーインゲルハイム、および GALVmed が協力し、動物のアフリカ・トリパノソーマ症 (AAT) に対する医学的ソリューションを探求

## 2023 年 9 月 5 日 ドイツ/インゲルハイム

ビル&メリンダ・ゲイツ財団、英国政府外務・英連邦・開発省、ベーリンガーインゲルハイム、および GALVmed (グローバル・アライアンス・フォア・ライブストック・ベトナム・メディスン、ライブストック医薬品のためのグローバルアライアンス) は、動物のアフリカ・トリパノソーマ症 (AAT) の撲滅に向けたソリューションを探求する新たなパートナーシップを締結したことを発表しました。

AAT は、脊椎動物の疾病で、牛、水牛、馬、羊、山羊、豚、犬などに影響を及ぼします。AAT は、寄生原虫類の *Trypanosoma congolense*、*Trypanosoma vivax*、また、発生率は低いものの *Trypanosoma brucei brucei* によって引き起こされる病気で、主にツエツェバエ (*Glossina* spp.) によって伝播し、アフリカでは大きな問題となっています。*Trypanosoma vivax* による感染は南米の北部でも見られ、サシバエ (*Stomoxys*) やアブ



2023年9月15日

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
コーポレートアフェアーズ

東京都品川区大崎2-1-1

ThinkPark Tower

Tel: 03-6417-2145

Fax: 03-5435-2920

当プレスリリースは、弊社HPからも  
ご覧になれます。

[www.boehringer-ingelheim.com/jp/](http://www.boehringer-ingelheim.com/jp/)

(Tabanid)などの刺咬性ハエによって伝播します。さらに最近では、中東でも報告されています。

感染すると、感染性寄生虫が宿主動物の血液中で増殖し、発熱、虚弱、倦怠感、貧血などを引き起こし、体重減少、繁殖能力や乳量の低下につながり、死に至る場合もあります。

AAT は、アフリカでツェツェバエの分布が確認されている地域(ツェツェベルト地帯)の 5,000 万頭以上の牛が感染の脅威にさらされています<sup>1</sup>。しかしながら、牛の行動や移牧、および刺咬性ハエによる T. Vivax の伝播リスクなどからツェツェベルト地帯以外の牛への影響も考慮すると、その影響は 9,000 万頭にも上ると推定されます<sup>2</sup>。また、AAT による牛の死亡は、年間 300 万頭と考えられています<sup>2</sup>。肉・乳生産量の減少といった AAT に直接的に起因する損害と、治療やツェツェバエの防除にかかる費用は合計で年間 10 億米ドルを超えると推定され<sup>3</sup>、農業関連の国内総生産(GDP)における損害は、アフリカの感染地域全体において年間 45 億米ドルにも上ると考えられます<sup>4</sup>。

世界保健機関(WHO)が撲滅の対象に挙げているヒト・アフリカ・トリパノソーマ症に関しては、官民の連携関係により大きな進展が見られています(WHO, 2020a)<sup>5</sup>。それとは対照的に、AAT に対するコントロールは限定的なものにとどまっています。AAT は、宿主となる畜種の多様性、寄生虫と媒介するハエの関係性、感染源が野生動物であることなど、多くの理由からヒト・アフリカ・トリパノソーマ症よりも複雑で管理しにくい疾病です。ワクチンが存在せず、費用効果の高い診断ツールもなく、現在使われている AAT 治療薬は偽造や薬物耐性の課題を抱えているなど、既存の疾病管理方法では不十分であると考えられています。さらに、AAT 発生国のほとんどが発展途上国であり、家畜の風土病を監視・管理するリソースが限られています。今回、新たに発表されたビル&メリンダ・ゲイツ財団、英国政府外務・英連邦・開発省、ベーリンガーインゲルハイム、および

GALVmedによる提携は、AATに対処する新しいソリューションを見出し、提供することを目的としたものです。

ビル&メリンダ・ゲイツ財団、英国政府外務・英連邦・開発省、ベーリンガーインゲルハイム、および GALVmed は、他の学術・国際プロジェクトと協力して研究を行い、AATに対処するソリューションの開発を進めていきます。新しい動物用医薬品の開発には、長い年月がかかります。また、複雑なプロセスであるため、極めて有望な新たなソリューションを生み出して届けられるまでには、パートナーシップを通じて多くの作業が必要になります。このパートナーシップでは、AATに対する新たなソリューションを2030年までに上市することを目指しています。

参照:

1. Cecchi G, Mattioli RC. Geospatial datasets and analyses for an environmental approach to African trypanosomiasis. PAAT technical and Scientific Series 9. Rome: FAO, 2009.
2. de Mendonça C. "Nagana" Info for Coms. [Presentation]. BIV, 2021.
3. Grace D, Songe M, Knight-Jones T. Impact of neglected diseases on animal productivity and public health in Africa. Proceedings of 21st Conference of the World Organisation for Animal Health (OIE) regional commission for Africa, 16-20 February 2015, Rabat, Morocco: Nairobi. ILRI; p 16.
4. Shaw APM. Economics of African trypanosomiasis. In: Maudlin I, Holmes PH, Miles MA, editors. The Trypanosomiasis. Wallingford: CABI International; 2004. p. 169–402. doi: 10.1079/9780851994758.0369
5. WHO: Ending the neglect to attain the sustainable development goals: a road map for neglected tropical diseases 2021–2030. World Health Organization, Geneva. 2020a.

### ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスについて

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスは、動物の疾患の予測、予防、そして治療において、ファースト・イン・クラスのイノベーションをもたらす医薬品や治療法の開発に取り組んでいます。世界 150 カ国以上において、獣医師、ペットオーナー、畜産家、そして政府当局に対し、幅広い革新的な製品ポートフォリオとサービスを提供し、コンパニオンアニマルとライブストック(産業動物)の健康と幸福の向上に寄与しています。

私たちはアニマルヘルス業界のグローバルリーダーとして、株式を公開しないベーリンガーインゲルハイムの独立した企業形態により、長期的視野を維持しています。

動物と人の命は、深く複雑に結びついており、動物が健康であれば、人間も健康でいられると信じています。アニマルヘルス事業とヒト用医療用医薬品事業におけるシナジーにより、イノベーションを通じて価値を提供し、動物と人の健康と幸福に寄与すべく邁進しています。

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスの詳細:

<https://www.boehringer-ingenelheim.com/animal-health/about-animal-health-business-unit>

(ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス)

<https://www.boehringer-ingenelheim.com/jp/animal-health>

(ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン)

### ベーリンガーインゲルハイムについて

ベーリンガーインゲルハイムは、世代を超えて生活を変革する画期的な医薬品や治療法の開発に取り組んでいます。研究開発主導型のバイオ製薬企業のリーディングカンパニーとして、アンメットメディカルニーズの高い分野において、イノベーションによる価値の創出を目指しています。

1885年の創立以来、ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業形態により長期的かつサステナブルな視点を維持しています。ヒト用医療用医薬品とアニマルヘルスの2つの事業分野において、53,000人以上の社員が世界130カ国以上で事業を展開しています。

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.boehringer-ingenelheim.com/>

(ベーリンガーインゲルハイム)

<https://www.boehringer-ingenelheim.com/jp/>

(ベーリンガーインゲルハイム ジャパン)

<https://annualreport.boehringer-ingenelheim.com/2022/>

(アニュアルレポート 英語)

お問い合わせ先:

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
コーポレートアフェアーズ

Tel. 03-6417-2145

Fax. 03-5435-2920